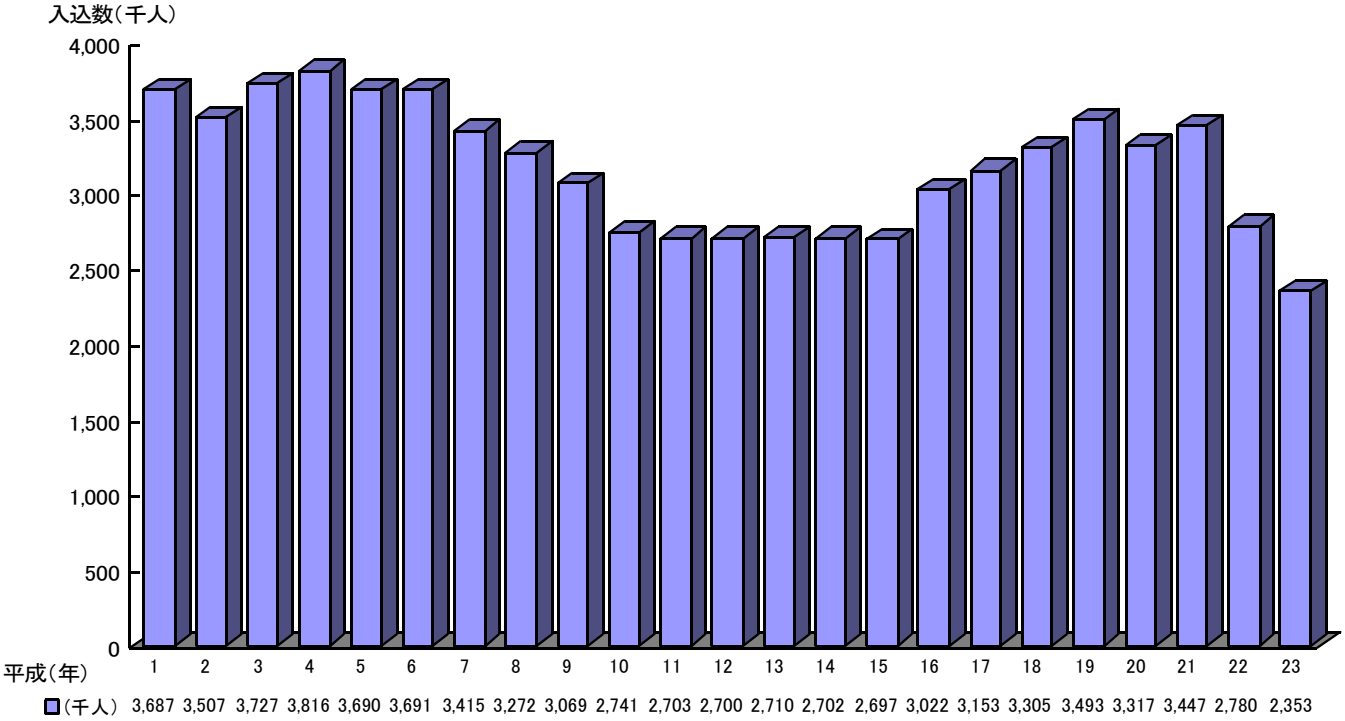
平成 23 年会津若松市観光客入込みの概況について



平成２３年に会津若松市を訪れた観光客の総数は2，３５３千人でした。鶴ヶ城の赤瓦への葺き替え及び外壁の改修工事の影響や、会津藩公行列が大雨で中止となったことにより観光客が大きく減少した前年よりも、４２７千人（対前年比 84.6％）の減少となりました。

減少要因は、平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災、福島第一原子力発電所事故、さらに原発事故に伴う風評被害の影響によるものです。こうした、かつて経験したことのない事態により、余震への不安、全国的な自粛ムード、放射線への不安から、観光客が大幅に減少し、特に、教育旅行や団体旅行において、大きな影響を受けました。

一方、観光復興に向けて全力を挙げて取り組んだ各種イベント、観光物産展等への積極的な出展、モニターツアー、学校訪問や旅行エージェント対策、ホームページをはじめ各種機会をとらえて実施した会津の安全性や多様な魅力の情報発信により、観光客は徐々に回復してきています。